

宇宙生体医工学研究プロジェクト シンポジウム



神経・筋の適応機構・抑制策の追求

開催日 2024年2/26(月)

時間 10:00~12:30

場所 同志社大学 良心館RY305
(今出川校地)

同志社大学は2018年より同志社大学研究ブランディング事業として「宇宙生体医工学研究プロジェクト」を実施しました。今回、プロジェクト終了にあたり、同志社大学研究開発推進機構大平充宣客員教授を中心にすすめてまいりました、「神経・筋の適応機構・抑制策の追求」課題の最終報告をいたします。国際連携をすすめてまいりました、カリフォルニア大学サンディエゴ校のAlan Hargens教授を米国からお招きし、NASAの宇宙開発や生理学研究について大変貴重なご講演をいただく機会となりました。

(講演は英語でおこないます)



お申込み不要
(会場/Zoom ウェビナー)

下記のZoomよりご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/83049991602>



プログラム

10:00 開催挨拶 宇宙生体医工学研究プロジェクト運営委員長 塚越 一彦 (研究開発推進機構長)

10:05-10:20 【神経・筋の適応機構・抑制策の追求 Regulation mechanism responsible for neuro-muscular plasticity】
Introduction of Speakers
Dr. OHIRA Yoshinobu, Visiting Professor, Doshisha University
同志社大学 研究開発推進機構 客員教授 大平 充宣



10:20-11:00 無重力への適応は人間が固有受容に関連するメカニズムに依存していることを示している
Adaptation to zero gravity demonstrates human's dependence on mechanisms related to proprioception
Dr. V. Reggie EDGERTON, University of California, Los Angeles

11:05-11:45 宇宙と新世界の探検家は互いに似ている
Explorers of space are similar to explorers of the new world
Dr. Alan R. HARGENS, University of California, San Diego

11:50-12:30 宇宙生命科学と健康増進科学のつながり
Connection of space life science and health-promotion science on the Earth
Dr. OHIRA Yoshinobu, Visiting Professor, Doshisha University
同志社大学 研究開発推進機構 客員教授 大平 充宣

12:30-12:35 閉会挨拶 宇宙生体医工学研究プロジェクト運営委員長 塚越 一彦 (研究開発推進機構長)